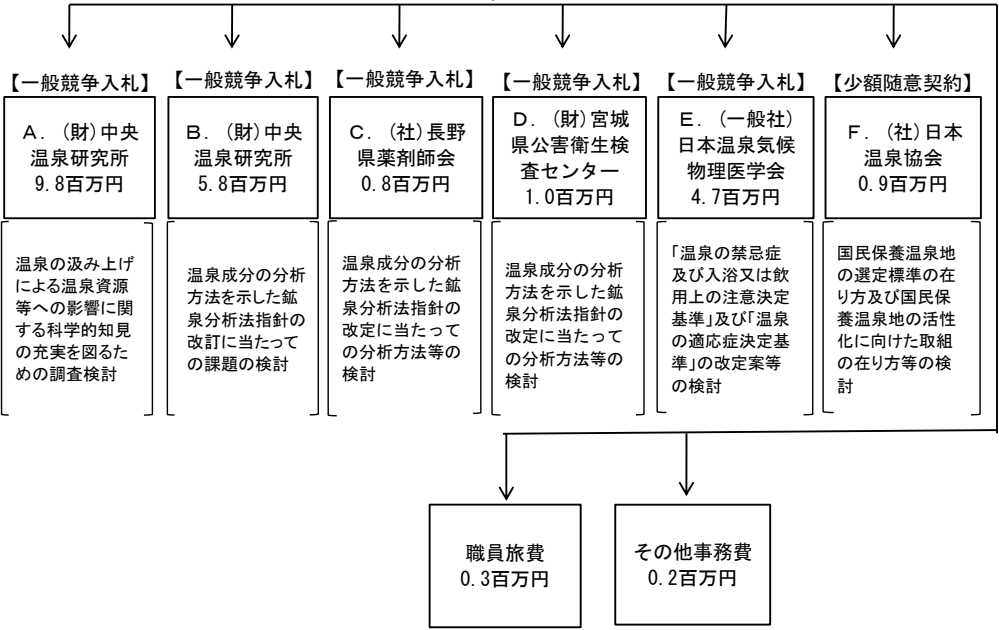


平成23年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	温泉の保護及び安全・適正利用推進事業		担当部局庁	自然環境局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度～		担当課室	自然環境整備担当参事官室		自然環境整備担当参事官 大庭 一夫		
会計区分	一般会計		施策名	5-5 自然のとふれあいの推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	温泉資源の保護に関するガイドライン(平成21年3月通知) 温泉法第13条の運用について(昭和57年5月通知) 鉱泉分析法指針(改訂)(平成14年3月通知)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	温泉法に基づき都道府県等が行う土地の堀削等の許可の判断基準等に関連する事項等を策定し、同法を適正に施行すること等により、同法の目的である温泉の保護、可燃性天然ガスによる災害の防止及び温泉の適正利用を推進する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	温泉の賦存量等に関するデータや温泉の汲み上げによる温泉資源等への影響に関する科学的知見の一層の充実を図るための調査検討、温泉の採取等に伴い発生する可燃性天然ガスによる災害防止対策に関する事例集の作成、当省が策定した温泉利用施設における掲示の適正を図るための「温泉の禁忌症及び入浴又は飲用上の注意決定基準」及び「温泉の適応症決定基準」の改定案の検討等を行うものである。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	26	28	25	24	21	
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	0	0	0	0		
	執行額	26	28	25	24			
	執行率(%)	17	22.03	23.6				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	温泉の適正利用の推進を図る成果として、温泉利用の宿泊施設利用人数を指標とする。ただし、当該事業は、温泉法の適正な施行を図るために各種調査・検討を行うものであり、温泉法の許認可件数や温泉湧出量などの客観的な指標のみで成果を現すことは適当ではなく、目標値は設定できない。		成果実績	千人	132,677	127,930	集計中	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	当該事業は、温泉法に基づく許可等の事務を行う都道府県等に対し、各種調査・検討の結果に基づく技術的助言を行うことにより温泉法の適正な施行を図ることを目的としており、実施箇所や実施件数といった客観的な数値による評価が難しいため活動指標を設定できない。		活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-	-
単位当たりコスト	0.17円/1人 「利用者1人あたりに係る本事業費」 (平成21年度実績)		算出根拠	本事業により温泉の適正利用や可燃性天然ガスによる災害防止が図られることで、我が国の貴重な自然資源である温泉の保護と利用が保たれ、国民の享受に資することから、本事業費にかかる温泉利用者一人あたりのコストを計上したものの。				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.07	0.07					
	職員旅費	0.27	0.27					
	委員等旅費	0.18	0.18					
	自然環境保全調査費	0.06	0.06					
	自然環境保全調査等委託費	23.04	20.45					
	計	23.62	21.04					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	競争性を確保するため、一般競争入札を実施しているが応札者が少ない。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>温泉は古来より人々の休養・保養・療養に貢献し、また観光や地域経済の観点からも重要な役割を果たしている貴重な自然資源であり、年間延べ1億人以上が利用するなど国民の高い関心を集めている。これまでも拡大する利用に伴い多様化する国民のニーズに応えるため、入浴者に対する温泉の成分等の情報提供の充実や、可燃性天然ガスによる災害の防止などに対応してきたが、温泉の保護及び適正な利用を推進するため、大深度掘削泉における温泉の賦存量や汲み上げに伴う地盤環境への影響等に関する検討、温泉の禁忌症等の見直し、国民保養温泉地の選定標準の在り方等の検討を行う必要があることから、引き続き実施していくものである。</p> <p>なお、事業の執行にあたっては、事前の執行計画の立案等により費用対効果の高い事業執行を心がけ、契約手法についても競争性の高い事業者選定を行っているが、今後も引き続き適正に執行していく。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善	効率的な執行のため事業内容の見直しを図り、事業規模を縮小すべき。		
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
縮減	温泉資源の保護対策に係る事業費のうち、検討会回数の見直しにより人件費等業務経費を節減し概算要求額を減額。		
	補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）		
-			

環境省
23.6百万円



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.(財)中央温泉研究所					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	温泉資源の保護対策に関する調査	9.7			
計		9.7	計		0
B.(財)中央温泉研究所					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	鉱泉分析法指針改定検討	5.8			
計		5.8	計		0
D.(社)宮城県公害衛生検査センター					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	鉱泉分析法課題検討実施	1.0			
計		1.0	計		0
E.(一般社)日本温泉気候物理医学会					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	温泉利用に関する揭示内容等についての医学的検討調査	4.7			
計		4.7	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)中央温泉研究所	温泉資源の保護対策に関する調査検討業務	9.8	1	94.28

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)中央温泉研究所	鉱泉分析法指針改訂検討業務	5.8	1	95.21

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(一般社)日本温泉気候物理医学会	温泉利用に関する掲示内容等についての医学的検討調査	4.7	1	95.6

D

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)宮城県公害衛生検査センター	鉱泉分析法課題検討実施業務(その2)	1	2	56.79

E

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社)日本温泉協会	国民保養温泉地における温泉の公共的利用増進に関する検討業務	0.9	随意契約	-

F

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社)長野県薬剤師会	鉱泉分析法課題検討実施業務(その1)	0.8	3	45.49